

# NO! リニア

No. 80  
2014年 8月20日  
JR東海労働組合  
リニア反対プロジェクト

## まだ何も問題が解決していないのに、 リニア10月着工を表明

8月19日の新聞報道によると、JR東海は、リニア中央新幹線の認可が下りれば、10月にも工事を着工することを明らかにしました。その中でも、品川・名古屋の各駅の地下と、南アルプスの山岳トンネルから工事を始めるとしています。

すでに新聞などで報道されたように、南アルプストンネルの工事で毎秒2トンの水が流失することが公表され、大井川流域の各市町村から懸念の声が上がっています。この声は、静岡県の実情として反映され、JR東海も承知しています。

しかし、JR東海は毎秒2トンの水の流失対策を明らかにしないまま、着工を表明しているのです。そもそも、問題が解決してから着工というのが本来の順序というものなのです。なぜ、常識的な手順を取らないのでしょうか。まさか、抽象的なこと(毎秒2トン流失)を、具体的だと勝手に解釈し、これを公表した(JR東海の実情を表明した)ことが問題を解決したと言いくるめようとしているのではないのでしょうか？

住民や自治体などにしてみれば、大井川の水量が現状どおり確保されること、そのために流失分の水を大井川に戻す対策が万全であるとの確証が取れたこと、万が一、大井川が枯渇した場合の水源確保と補償の明示が、最低限の解決策でなければなりません。

それさえ出来ないなら、リニアを建設する資格はありません。JR東海は直ちにリニア建設を止めるべきです。

住民・自治体の疑問にはまだ答えていないぞ！



**リニア10月にも着工**

**JR東海 南ア工事優先か**

JR東海が、2012年12月に認可されたリニア中央新幹線(以下「リニア」)の建設にあたり、10月にも着工する意向を示している。このうち、品川・名古屋の各駅の地下と、南アルプスの山岳トンネルから工事を始めるとしている。JR東海は、南アルプスの山岳トンネルの建設にあたり、毎秒2トンの水が流失することが公表され、大井川流域の各市町村から懸念の声が上がっている。この声は、静岡県の実情として反映され、JR東海も承知している。

しかし、JR東海は毎秒2トンの水の流失対策を明らかにしないまま、着工を表明しているのです。そもそも、問題が解決してから着工というのが本来の順序というものなのです。なぜ、常識的な手順を取らないのでしょうか。まさか、抽象的なこと(毎秒2トン流失)を、具体的だと勝手に解釈し、これを公表した(JR東海の実情を表明した)ことが問題を解決したと言いくるめようとしているのではないのでしょうか？

住民や自治体などにしてみれば、大井川の水量が現状どおり確保されること、そのために流失分の水を大井川に戻す対策が万全であるとの確証が取れたこと、万が一、大井川が枯渇した場合の水源確保と補償の明示が、最低限の解決策でなければなりません。

それさえ出来ないなら、リニアを建設する資格はありません。JR東海は直ちにリニア建設を止めるべきです。

2014年8月19日  
『静岡新聞』